

1. 教育目標

乳がんの診断ならびに手術、術後療法（化学療法、内分泌療法、分子標的治療）に関する総合的な診断と治療法を習得し、癌の発生や予後因子、治療効果予測因子の意義を理解する。データの解析方法と論文作成を学ぶ

2. 到達目標

- (1) 乳癌の病理診断を理解することができる
- (2) 乳癌のバイオロジーを理解できる
- (3) 乳癌の薬物療法を理解できる
- (4) 免疫組織染色の手技の取得と評価ができる
- (5) 培養細胞、分子生物学的手技を習得する
- (6) データの処理と統計学的解析ができる
- (7) 英文による論文作成ができる

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

大学院の全過程において定期的に知識、理解度、技術の習得程度を確認し、評価していく。その結果をもとに、さらなる知識や技術の習得が可能となるよう指導を行う。

口頭試問の実施（20％）、研究成果の発表（40％）、論文作成（40％）

4. 教科書・参考書

特に教科書は定めないが、必要に応じて参考書や資料を配布する。

5. 準備学習

予習としては、あらかじめ英語の論文を読んで、サマリーを記載する（1時間）

復習として講義内容をノートにまとめる（0.5時間）

自分でデータの作成、統計処理を行う（1時間）

6. フィードバック方法

自己学習と実践を重視する。特に統計解析と英文論文の作成は各自が行い、その後指導教官のチェックを受ける。質問等は、その都度指導教官に確認し、解決することを心掛ける。

(第1学年・昼間開講)

【乳腺内分泌外科学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	乳腺腫瘍学の基礎と診断学	三好臨床教授、西向助教	月曜/2限	半年	2	外科 カンファ室
実験研究	細胞培養、遺伝子の解析	永橋臨床准教授、樋口助教	火曜/4限、5限	通年	4	共同研
演習	外国文献の抄読と実験データの解析	三好臨床教授、樋口助教	月曜/2限	半年	2	外科 カンファ室
実験研究	ELISA、FACSによる解析	永橋臨床准教授、西向助教	木曜/3限、4限	通年	4	共同研

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	乳腺腫瘍学の基礎と診断学	三好臨床教授、西向助教	月曜/6限	半年	2	外科 カンファ室
実験研究	細胞培養、遺伝子の解析	永橋臨床准教授、樋口助教	火曜/6限、7限	通年	4	共同研
演習	外国文献の抄読と実験データの解析	三好臨床教授、樋口助教	月曜/6限	半年	2	外科 カンファ室
実験研究	ELISA、FACSによる解析	永橋臨床准教授、西向助教	木曜/6限、7限	通年	4	共同研

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	データの解析と論文作成	三好臨床教授、西向助教	月曜/3限	通年	4	外科 カンファ室
実験研究	培養細胞、オルガノイドによる解析	永橋臨床准教授、樋口助教	木曜/4限、5限	通年	4	共同研
実験研究	免疫組織染色の手技取得	永橋臨床准教授、西向助教	金曜/3限、4限	通年	4	共同研

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	データの解析と論文作成	三好臨床教授、西向助教	月曜/7限	通年	4	外科 カンファ室
実験研究	培養細胞、オルガノイドによる解析	永橋臨床准教授、樋口助教	木曜/6限、7限	通年	4	共同研
実験研究	免疫組織染色の手技取得	永橋臨床准教授、西向助教	金曜/6限、7限	通年	4	共同研